

[1]四国の事業用自動車による重大事故発生状況

1. 自動車保有台数

令和7年12月末現在の四国管内における事業用自動車の保有台数は表1のとおりです。

【令和7年の対前年比】				【参考: 令和6年の対前年比】	
徳島県	9,878台	(前年比 - 15台	-0.15%)	(前年比 + 49台	+0.50%)
香川県	16,542台	(前年比 - 56台	-0.34%)	(前年比 - 34台	-0.20%)
愛媛県	21,447台	(前年比 - 280台	-1.29%)	(前年比 - 28台	-0.13%)
高知県	8,694台	(前年比 - 122台	-1.38%)	(前年比 - 87台	-0.99%)
計	56,561台	(前年比 - 473台	-0.83%)	(前年比 - 100台	-0.18%)

表1 自動車保有台数(令和7年12月末現在)

区分	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
事業用	バス	641	741	853	477	2,712
	ハイタク	957	1,434	1,935	1,122	5,448
	トラック	8,280	14,367	18,659	7,095	48,401
	計	9,878	16,542	21,447	8,694	56,561
自家用	バス	717	817	1,156	671	3,361
	乗用	455,178	596,885	745,985	393,225	2,191,273
	トラック	132,081	155,686	220,154	133,604	641,525
	計	587,976	753,388	967,295	527,500	2,836,159
小型・軽二輪車		22,035	33,840	42,270	25,501	123,646
合計		619,889	803,770	1,031,012	561,695	3,016,366

(注) 1. 軽自動車を使用して貨物を運送する事業用自動車は自家用トラックに含む

2. 特種自動車、大型特殊自動車はトラックに含む

3. トレーラも1台としてカウント

【参考: 令和6年12月末現在の保有車両数】

区分	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
事業用	バス	630	726	840	488	2,684
	ハイタク	969	1,462	2,016	1,135	5,582
	トラック	8,294	14,410	18,871	7,193	48,768
	計	9,893	16,598	21,727	8,816	57,034

2. 交通事故発生状況

令和7年の四国及び全国の交通事故の発生状況は表2のとおりです。

表2 交通事故発生状況

(令和7年1月～12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国	全国
発生件数	令和7年	1,895	2,649	2,077	830	7,451	287,023
	令和6年	1,817	2,943	2,074	898	7,732	290,895
	増減数	78	-294	3	-68	-281	-3,872
	増減率	4.3%	-10.0%	0.1%	-7.6%	-3.6%	-1.3%
死者数	令和7年	19	20	46	25	110	2,547
	令和6年	33	31	52	21	137	2,663
	増減数	-14	-11	-6	4	-27	-116
	増減率	-42.4%	-35.5%	-11.5%	19.0%	-19.7%	-4.4%
負傷者数	令和7年	2,273	3,203	2,237	910	8,623	338,508
	令和6年	2,145	3,579	2,271	984	8,979	344,395
	増減数	128	-376	-34	-74	-356	-5,887
	増減率	6.0%	-10.5%	-1.5%	-7.5%	-4.0%	-1.7%

出典: 警察庁HP 「令和7年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」

2-2. 事業用自動車の重大事故発生状況

令和7年中に四国で自動車事故報告規則に基づき、国土交通大臣に報告された事業用自動車による重大事故の発生件数、死傷状況等は表3のとおりとなっています。

発生件数	120件 (前年比 + 2件)
死者数	15人 (前年比 - 5人)
負傷者数	89人 (前年比 + 36人)

表3 事業用自動車による重大事故発生状況

(令和7年1月～12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生件数	令和7年	37	39	33	11	120
	令和6年	28	34	38	18	118
	増減数	9	5	-5	-7	2
	増減率	32.1%	14.7%	-13.2%	-38.9%	1.7%
死者数	令和7年	1	6	7	1	15
	令和6年	2	7	5	6	20
	増減数	-1	-1	2	-5	-5
	増減率	-50.0%	-14.3%	40.0%	-83.3%	-25.0%
負傷者数	令和7年	11	49	24	5	89
	令和6年	13	11	18	11	53
	増減数	-2	38	6	-6	36
	増減率	-15.4%	345.5%	33.3%	-54.5%	67.9%

3. 重大事故発生状況の推移

報告された事業用自動車の重大事故発生状況の推移は表4のとおりであり、令和7年は事故の発生率を表す1000台あたりの事故件数について、昨年と比べて微増、負傷者数は増加していますが、死者数については減少しています。

管内の事業用自動車数の推移は図2のとおりであり、直近10年間では令和2年をピークに減少が続いています。

表4 重大事故発生状況の推移

	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
自動車数	55,493	56,124	56,599	57,332	57,453	57,447	57,403	57,134	57,034	56,561
事故件数	115	138	107	118	77	90	88	109	118	120
死者数	35	39	24	38	23	19	11	19	20	15
負傷者数	134	119	82	80	47	57	42	56	53	89
1,000台あたり 事故件数	2.1	2.5	1.9	2.1	1.3	1.6	1.5	1.9	2.07	2.12

図1 重大事故発生状況の推移

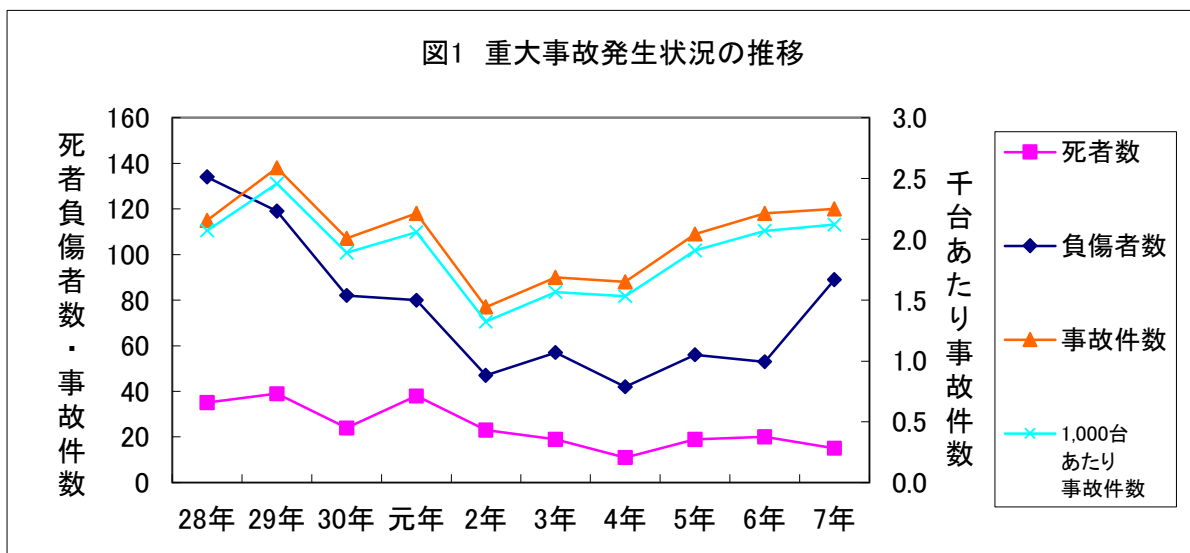
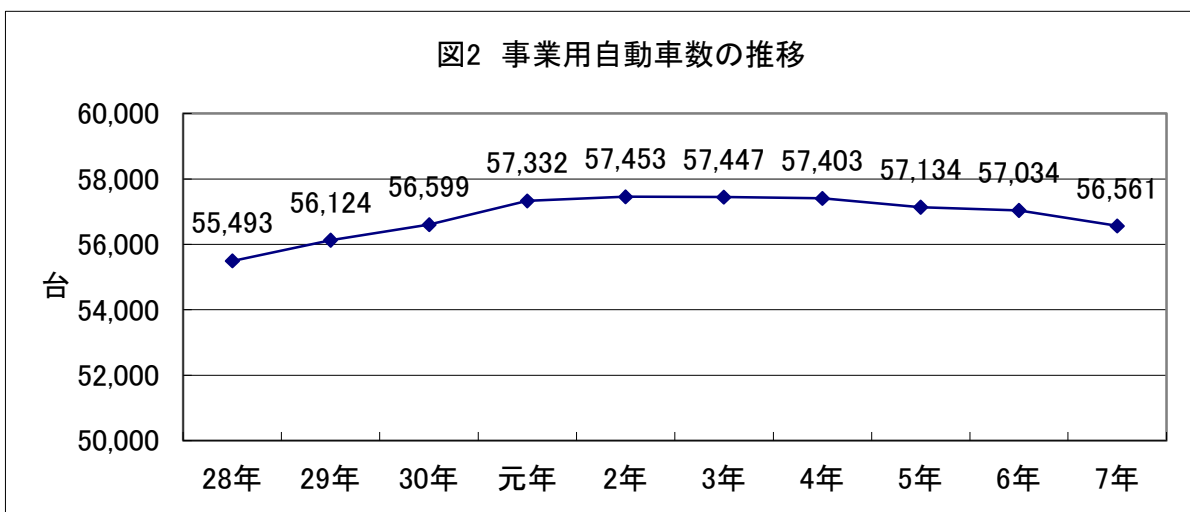


図2 事業用自動車数の推移



4. 事業用自動車1,000台当たりの重大事故件数

事業用自動車1,000台当たりの重大事故発生件数を県別で見ると、徳島県3.7件、香川県2.4件、愛媛県1.5件、高知県1.3件となっており、徳島県が四国の平均値2.1を大きく上回っています。

表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和7年1月～12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生 件数	バス	26	12	13	3	54
	ハイタク	1	5	2	1	9
	トラック	10	22	18	7	57
	計	37	39	33	11	120
事業用 自動車 数	バス	641	741	853	477	2,712
	ハイタク	957	1,434	1,935	1,122	5,448
	トラック	8,280	14,367	18,659	7,095	48,401
	計	9,878	16,542	21,447	8,694	56,561
千台 あたり の事故 件数	バス	40.6	16.2	15.2	6.3	19.9
	ハイタク	1.0	3.5	1.0	0.9	1.7
	トラック	1.2	1.5	1.0	1.0	1.2
	計	3.7	2.4	1.5	1.3	2.1

【参考】表5 県別、業態別事業用自動車1,000台当り重大事故件数

(令和6年1月～令和6年12月)

	県別	徳島	香川	愛媛	高知	四国
発生 件数	バス	14	17	14	6	51
	ハイタク	2	1	6	0	9
	トラック	12	16	18	12	58
	計	28	34	38	18	118
事業用 自動車 数	バス	630	726	840	488	2,684
	ハイタク	969	1,462	2,016	1,135	5,582
	トラック	8,294	14,410	18,871	7,193	48,768
	計	9,893	16,598	21,727	8,816	57,034
千台 あたり の事故 件数	バス	22.2	23.4	16.7	12.3	19.0
	ハイタク	2.1	0.7	3.0	0.0	1.6
	トラック	1.4	1.1	1.0	1.7	1.2
	計	2.8	2.0	1.7	2.0	2.1

5. 業態別重大事故発生状況

重大事故発生状況を業態別及び事故の種類毎に示すと表6のとおりであり、発生件数に占める業態別の割合はバスが54件45.0%（前年43.2%）、ハイタクが9件7.5%（前年7.6%）、トラックが57件47.5%（前年49.2%）となっています。事故の種類で最も多いのは、バスの車両故障（43件）となっており、全体の35.8%を占めています。

表6 県別、業態別、種類別発生状況

（令和7年1月～12月）

区分		事故件数	構成率	事故の種類（数値は件数）											損害		
県別	業態			転覆	転落	逸路脱外	火災	踏切	衝突	車内	死傷	起健康	物危険	故障	車両	その他	死者
徳島	バス	26	21.7%								2			24			2
	ハイタク	1	0.8%				1									1	
	トラック	10	8.3%				1		5		1			2	1		9
	計	37	30.8%				2		5		3			26	1	1	11
香川	バス	12	10.0%				1		1					10			11
	ハイタク	5	4.2%						2		3						16
	トラック	22	18.3%				1		13		1	2		3	2	6	22
	計	39	32.5%				2		16		4	2		13	2	6	49
愛媛	バス	13	10.8%				1		2	3				7		3	16
	ハイタク	2	1.7%								2						2
	トラック	18	15.0%	1			5		4		2	1		3	2	4	6
	計	33	27.5%	1			6		6	3	4	1		10	2	7	24
高知	バス	3	2.5%						1					2			1
	ハイタク	1	0.8%								1						1
	トラック	7	5.8%		1		2		1		1	1		1		1	3
	計	11	9.2%		1		2		2		2	1		3		1	5
管内	バス	54	45.0%				2		4	3	2			43		3	30
	ハイタク	9	7.5%				1		2		6					1	19
	トラック	57	47.5%	1	1		9		23		5	4		9	5	11	40
	計	120		1	1		12		29	3	13	4		52	5	15	89

（注）1. 車内事故とは、急ブレーキ、急ハンドル等により当該自動車に乗車している者が死傷したものを指す。

2. 死傷事故とは、通行人（自転車に乗って通行していた人を含む。）と接触又は衝突したものを指す。

【参考】令和6年1月～令和6年12月

区分		事故件数	構成率	事故の種類（数値は件数）											損害		
県別	業態			転覆	転落	逸路脱外	火災	踏切	衝突	車内	死傷	起健康	物危険	故障	車両	その他	死者
管内	バス	51	43.2%						2	1	1	3		44			5
	ハイタク	9	7.6%						5		1	2		1		2	5
	トラック	58	49.2%	4	4		9		21		10	2	1	3	4	18	43
	計	118		4	4		9		28	1	12	7	1	48	4	20	53

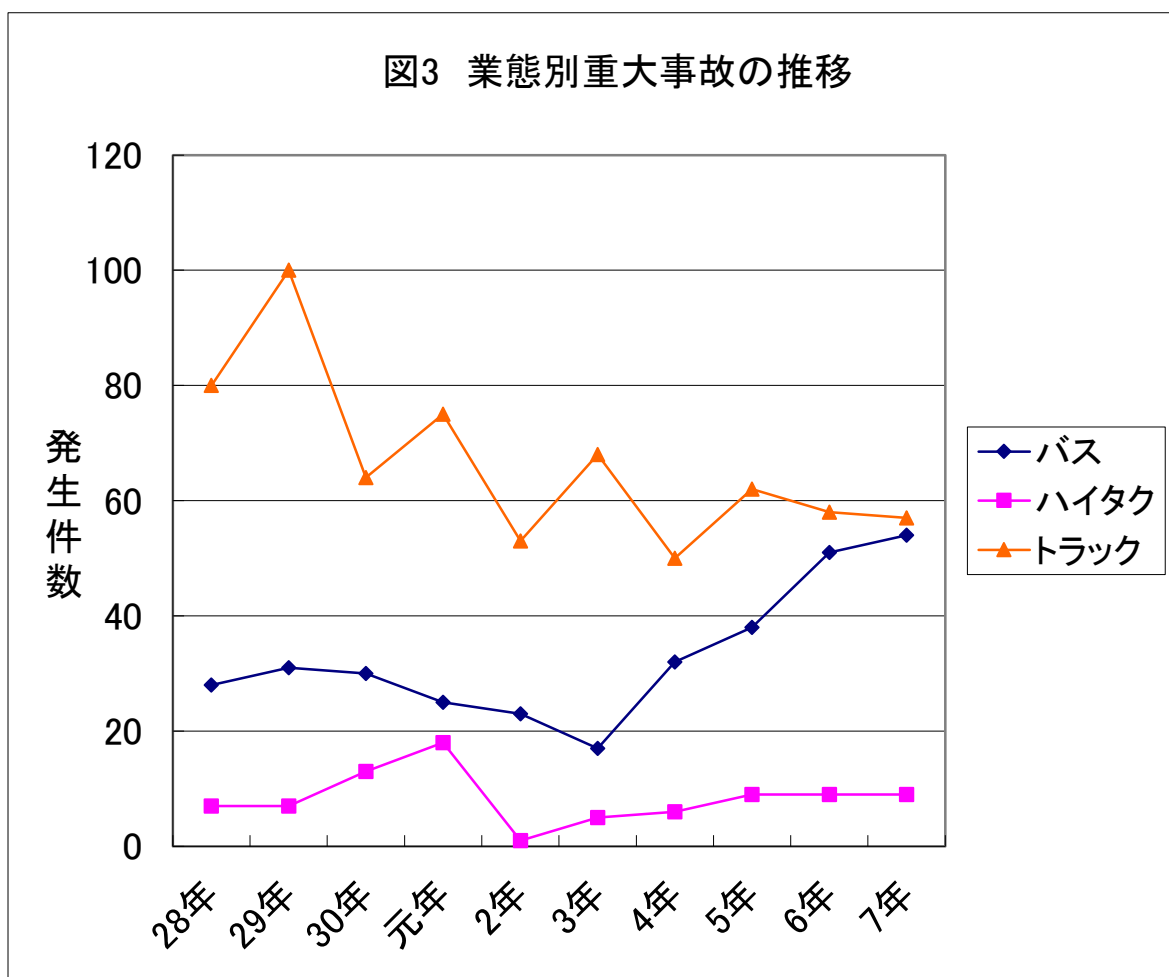
6. 業態別重大事故の推移

業態別重大事故発生状況の推移は表7及び図3のとおりであり、事故発生件数を前年と比較すると、バスは3件増加、ハイタクは昨年と同件数、トラックは1件減となっています。

表7 業態別重大事故の推移

	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
バス	28	31	30	25	23	17	32	38	51	54
ハイタク	7	7	13	18	1	5	6	9	9	9
トラック	80	100	64	75	53	68	50	62	58	57
計	115	138	107	118	77	90	88	109	118	120

図3 業態別重大事故の推移



7. 種別別重大事故発生状況

表6に示した事故の種別別重大事故発生件数を割合で見ると表8及び図4のとおりであり、前年と比較し、転覆、転落、健康起因及び危険物等は減少しているものの、火災、衝突、車内、死傷及び車両故障が増加となっています。死者が生じた事故件数は表9及び図5のとおり14件(死者15名)で、衝突事故が6割以上を占めています。

表8 種別別重大事故発生状況

事故種類	件数	構成率
転覆	1	0.8%
転落	1	0.8%
路外逸脱		
火災	12	10.0%
踏切		
衝突	29	24.2%
車内	3	2.5%
死傷	13	10.8%
健康起因	4	3.3%
危険物等		
車両故障	52	43.3%
その他	5	4.2%
計	120	

【参考】令和6年

件数	構成率
4	3.4%
4	3.4%
9	7.6%
28	23.7%
1	0.8%
12	10.2%
7	5.9%
1	0.8%
48	40.7%
4	3.4%
118	

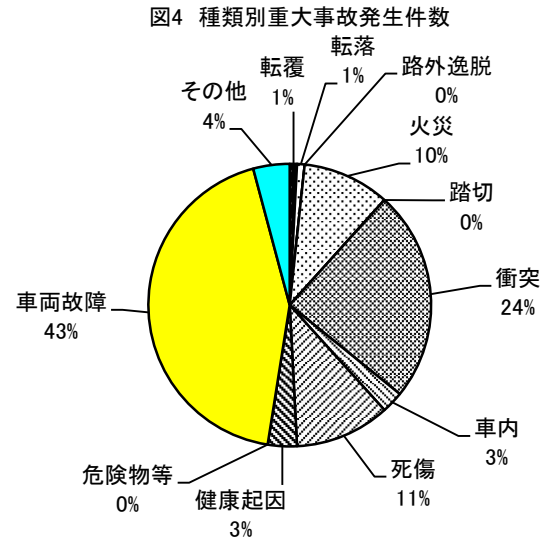
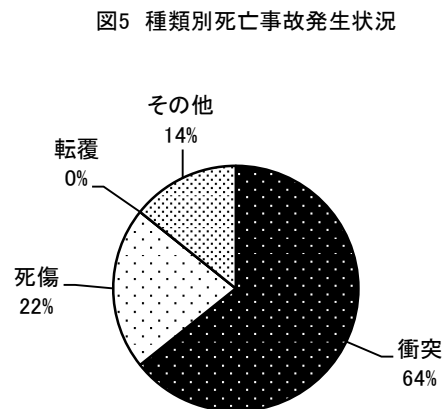


表9 種別別死亡事故発生状況

事故種類	件数	構成率
衝突	9	64.3%
死傷	3	21.4%
転覆		
その他	2	14.3%
計	14	

【参考】令和6年

件数	構成率
11	57.9%
6	31.6%
2	10.5%
19	



8. 種類別重大事故の推移

最近10年間における種類別重大事故の推移は表10のとおりであり、平成28年から令和7年まで10年間の事故種類別ごとに合計した構成率は、衝突事故が最も多い28.5%、次いで車両故障が26.9%を占めています。

表10 種類別重大事故の推移

(令和7年1月～12月)

	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	構成率	【参考】 H27～R6 構成率
転覆	4	8	2	5	2	7	2	6	4	1	3.8%	4.0%
転落	6	9	8	1	2	1	5	2	4	1	3.6%	3.7%
路外逸脱					1			1			0.2%	0.2%
火災	5	10	6	4	5	11	9	10	9	12	7.5%	6.8%
踏切	1										0.1%	0.1%
衝突	43	35	29	44	25	23	27	25	28	29	28.5%	30.4%
車内	5	4	2	3	2	2	2	3	1	3	2.5%	2.5%
死傷	26	30	24	25	15	12	8	18	12	13	16.9%	17.9%
健康起因	3	4	6	2	1	5	5	1	7	4	3.5%	3.2%
危険物等							1	1	1		0.3%	0.3%
車両故障	17	27	25	25	20	17	24	36	48	52	26.9%	24.9%
その他	5	11	5	9	4	12	5	6	4	5	6.1%	6.0%
計	115	138	107	118	77	90	88	109	118	120		

9. 原因別重大事故発生状況

重大事故発生状況を原因別にみると、全体の47.5%が車両故障であり、次いで運転操作不良が29.2%となっています。

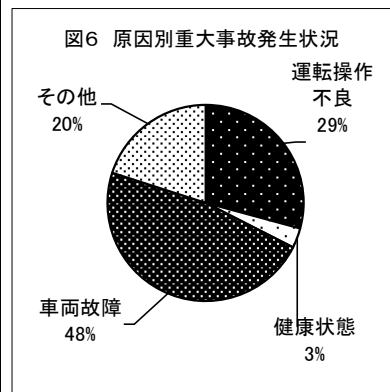
各原因の内容については、参考として次ページへ載せています。

表11 原因別重大事故発生状況

原因	件数	構成率
運転操作不良	35	29.2%
健康状態	4	3.3%
車両故障	57	47.5%
その他	24	20.0%
計	120	

【参考】令和6年

原因	件数	構成率
運転者の状態	1	0.8%
運転操作不良	33	28.0%
運転者の健康状態	7	5.9%
旅客に起因するもの		0.0%
車両に起因するもの	52	44.1%
積載物に起因するもの		0.0%
道路に起因するもの		0.0%
歩行者の不注意	2	1.7%
他の車両の不注意	14	11.9%
その他	9	7.6%
計	118	



(参考)

運転操作不良

安全速度の不履行	1 件
左折、右折不適切	1 件
車間距離不適切	1 件
制動操作不適切	1 件
操縦未熟	1 件
追越不適切	1 件
その他	2 件
発車時の安全確認の不良又は不履行	4 件
歩行者に対する不注意	4 件
脇見運転	6 件
漫然運転	13 件
計	35 件

健康状態

脳いっ血	1 件
心筋梗塞	1 件
その他	2 件
計	4 件

車両故障

設計、材質、熱処理、工作等の不良	1 件
不良部品の使用	2 件
原因究明中	5 件
日常点検の不履行又は不適切	5 件
定期点検整備の不履行又は不適切	7 件
その他	37 件
計	57 件

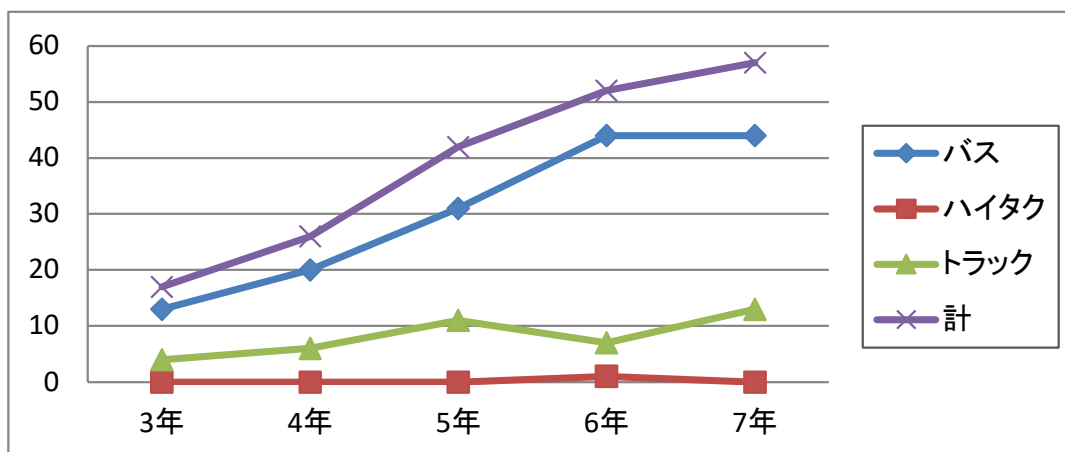
その他

歩行者に対する不注意	1 件
日常点検の不履行又は不適切	1 件
他の車両の不注意	6 件
その他	16 件
計	24 件

車両故障事故の発生状況(車両不具合に起因する火災事故等含む)

1. 業態別車両故障事故件数の推移

	3年	4年	5年	6年	7年	合計
バス	13	20	31	44	44	152
ハイタク	0	0	0	1	0	1
トラック	4	6	11	7	13	41
計	17	26	42	52	57	194



2. 県別車両故障事故件数の推移

	3年	4年	5年	6年	7年	合計
徳島	2	4	12	16	26	60
香川	10	12	10	15	16	63
愛媛	4	8	9	18	11	50
高知	1	2	11	3	4	21
四国計	17	26	42	52	57	194

